

身近な問題市長に提言

八月三十日、市役所庁議室で市政懇談会「市長と語りつ」が開催されました。市長が直接市民の声を聞き、市政の参考にすることが目的。今回は市政モニター十二人が、市町村合併についてと「ごみ減量のために行政ができること」の二つをテーマに、萩原市長へ考えや要望を述べました。特に合併については、市町村境界地域の問題や生活がどのように変化するかなど、質問や意見が活発に、とても意義ある懇談会になったようです。



障害者への理解を啓発



9月5日、第30回福祉パレードが行われました。9月は知的障害者福祉月間。地区ごとに巡回し、知的障害者への理解を深め、福祉の輪を広げることが目的です。市役所1階市民ロビーでは、参加者代表の深井桃子さんが「みんなの協力で毎日が楽しいです」とメッセージを発表。それに応えて萩原市長が「目標実現に向かい着実に頑張ってください」と激励しました。

温かい雰囲気にも包まれた大会

9月1日、市民体育館で「ふれあいスポーツ大会」が開かれました。障害を持つ人たちやボランティア団体の人たちなど、360人が参加。全員でラジオ体操をした後、メイン会場とサブ会場に分かれて競技を行いました。魚釣り競争やアベック競走など楽しみながらできる種目には、ボランティアの人たちも一緒に参加。団体競技では、フライングディスクや輪投げが行われ、会場は終始温かい雰囲気に包まれ、交流を深めました。



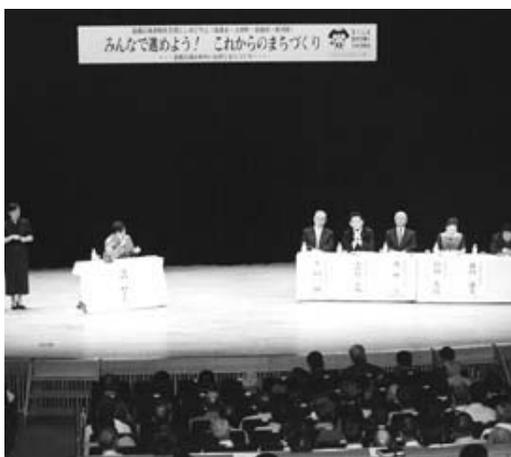
100歳おめでとう



清水
きみ乃さん
西善町

誕生日は明治35年9月2日。82歳くらいまで、伊勢崎銘仙の機械織りをしていました。今は庭の草むしりなどをして、毎日過ごしています。

大胡町で合併シンポジウム



九月一日、大胡町生涯学習センター・シヤンテで前橋広域市町村合併シンポジウムが開催されました。関西学院大教授・小西砂千夫さんの基調講演に引き続き、同氏を司会に五人がパネルディスカッション。五百二十人の観衆はホールに入りきれずロビーで聞き入る人の姿も。合併への機運の盛り上がりを感じられました。